

平成19年上半期の少年非行概況

1 刑法犯少年（触法少年を含む。）

- ・ 刑法犯少年は1,041人（前年同期比16.6%減）で、平成10年に比べて半減
- ・ 非行率は5.3（前年同期6.2）で減少、しかし、成人（1.1）の4.8倍

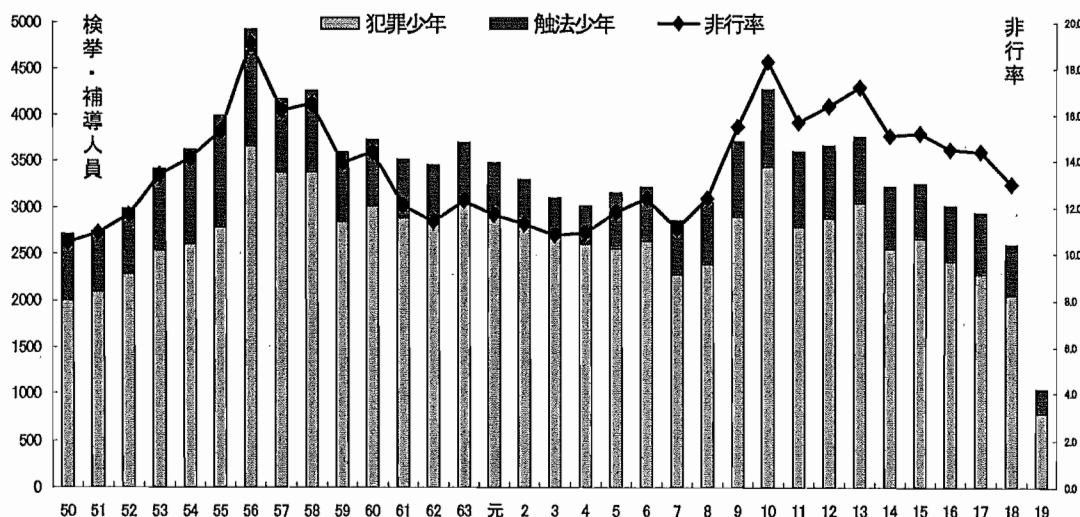
(1) 罪種別

【表1】

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
検挙人員	2,000	1,510	1,336	1,363	1,248	1,041
（）内は内数で女子を示す	(723)	(376)	(355)	(381)	(294)	(264)
凶悪犯	10	18	5	7	13	1
殺人			1		1	
強盗	3	6	4	2	7	
粗暴犯	195	176	171	119	142	151
窃盗犯	1,606	1,023	851	937	753	638
知能犯	15	6	3	15	13	15
詐欺	12	4	1	8	10	12
偽造	3	2	2	7	3	3
風俗犯	2	1	1	6	4	2
その他の刑法犯	172	286	305	279	323	234
少年の割合	64.4%	42.7%	41.4%	40.2%	38.4%	36.7%

(注) 「少年の割合」とは、刑法犯で検挙・補導した成人と少年の総人員に占める少年の割合

刑法犯少年の検挙・補導人員(昭和50年～平成18年)



(注) 非行率とは、10歳から19歳の少年人口1,000人当たりの検挙・補導人員の割合（平成19年は6月末現在を示す）

(参考：数値)

年次	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
非行率	10.5	10.9	11.7	13.4	14.1	15.3	19.1	16.2	16.5	13.9	14.4
年次	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8
非行率	12.1	11.4	12.3	11.7	11.3	10.8	10.9	11.8	12.4	11.1	12.4
年次	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19.1~6
非行率	15.5	18.3	15.7	16.4	17.2	15.1	15.2	14.5	14.4	13.0	5.3

※ 平成19年の数値は暫定値を表わす。

(2) 犯罪少年、触法少年別

【表2】

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
刑法犯少年	2,000	1,510	1,336	1,363	1,248	1,041
内女子	723	376	355	381	294	264
犯罪少年	1,624	1,227	1,102	1,049	973	790
内女子	600	324	295	319	223	203
触法少年	376	283	234	314	275	251
内女子	123	52	60	62	71	61

★ 平成10年同期に比べ犯罪少年は51.4%減少、触法少年は33.2%減少

(3) 街頭犯罪の検挙・補導状況

(注) ~ () 内は内数で触法少年を示す。

【表3】

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6	少年の割合(%)
総数	505 (49)	329 (56)	324 (31)	229 (34)	295 (34)	234 (39)	64.5 (10.7)
恐喝(たかり)			38 (7)	28 (3)	25 (1)	26 (4)	56.5 (8.7)
車上ねらい	7 (2)	12 (2)	9	11 (3)	2	13 (7)	39.4 (21.2)
ひったくり	5	25 (2)	15	5	4	4	66.7
自販機ねらい	6	20 (4)	34	11 (8)	15	9 (4)	56.3 (25.0)
自動車盗	22	20 (1)	21	22	23	14 (3)	60.9 (13.0)
オートバイ盗	216 (25)	123 (18)	94 (15)	44 (11)	72 (10)	67 (6)	97.1 (8.7)
自転車盗	212 (18)	96 (22)	95 (9)	86 (5)	137 (21)	92 (15)	73.6 (12.0)
強制わいせつ(屋外)	2			4 (3)	1		0.0
空き巣	7 (3)	6 (4)	9	5 (1)	7 (1)	1	6.3
忍込み	4	2 (1)	2		1	3	25.0
事務所荒し	7	1		6	1 (1)		0.0
出店荒し	17 (1)	24 (2)	7	7	7	5	55.6

★ 「少年の割合」は、平成19年上半期に表の12罪種で検挙・補導した成人と少年の総人員363人に占める割合

★ 街頭犯罪で検挙・補導した人員の64.5%は少年、手口別では乗物盗に集中

(4) 学職別

【表4】

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
小学生	116	92	70	106	74	54
中学生	813	587	526	584	513	477
高校生	736	498	425	406	394	303
その他学生	40	56	48	46	46	37
有職	129	110	121	99	106	90
無職	166	167	146	122	115	80
中・高校生の割合	77.5%	71.9%	71.2%	72.6%	72.7%	74.9%

★ 中・高校生で全体の74.9%、特に中学生は45.8%と高率

(5) 初発型非行

(注) ~ () 内は内数で触法少年を示す。

【表5】

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
総数	1,618 (326)	1,071 (196)	907 (161)	968 (240)	836 (200)	681 (165)
万引き	1,052 (266)	621 (134)	501 (119)	657 (202)	414 (141)	370 (118)
オートバイ盗	216 (25)	123 (18)	94 (15)	44 (11)	72 (10)	67 (6)
自転車盗	212 (18)	96 (22)	95 (9)	86 (5)	137 (21)	92 (15)
占有離脱物横領	138 (17)	231 (22)	217 (18)	181 (22)	213 (28)	152 (26)

★ 初発型非行が刑法犯少年の65.4%

★ 万引きは、平成10年同期に比べ激減(64.8%減少)するも初発型非行の54.3%と高率

(6) 再犯者の状況**【表6】**

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
総数(人)	334	465	415	370	373	329
率(%)	16.7	30.8	31.1	27.1	29.9	31.6
犯罪少年	308	419	372	327	333	277
率(%)	19.0	34.1	33.8	31.2	34.2	35.1
触法少年	26	46	43	43	40	52
率(%)	6.9	16.3	18.4	13.7	14.5	20.7

(注) 全国平均：刑法犯少年～28.8% 犯罪少年～31.4% 触法少年～データなし

★ 岡山県の再犯者は、刑法犯少年(+2.8P)、犯罪少年(+3.7P)とともに全国平均を超過

2 特別法犯少年

(注)～()内は内数で触法少年を示す。【表7】

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
総数	74 (7)	25 (1)	25 (5)	32 (3)	39 (7)	29 (10)
覚取法	5 (1)	1		2		1
毒劇法	29	2	3	1		
軽犯罪法	13 (5)	2	5	4	18 (4)	8 (7)
廃棄物法		1	3	9 (1)	7	7
鉄道営業法				3	4 (3)	1
育成条例	12	10	1		5	3
迷惑防止条例	3	3	3	6 (1)	1	3 (2)
環境条例			3			3
その他	12 (1)	6 (1)	7 (5)	7 (1)	4	3 (1)

★ 平成10年に比べ大幅減(60.8%)、中でも毒劇法は検挙・補導皆無

3 不良行為少年**【表8】**

年次	H10.1~6	H15.1~6	H16.1~6	H17.1~6	H18.1~6	H19.1~6
総数	7,988	7,913	8,248	9,769	10,418	9,294
喫煙	3,775	3,606	3,687	4,380	4,822	4,380
深夜はいかい	2,151	2,663	2,748	3,179	3,550	2,977
怠学	1,033	547	692	700	855	789
不良交友	479	540	505	983	753	664
暴走行為	300	279	333	254	190	156
その他	250	278	283	273	248	328

★ 喫煙・深夜はいかいで不良行為全体の79.2%

★ 「その他」を除きすべて減少、「その他」の中では粗暴行為(放置すれば暴行、脅迫、器物損壊等に発展するおそれのある粗暴な行為)が増加

【参考】**【表9】**

年次	H10	H15	H16	H17	H18	H19.1~6
少年人口	234,295	209,367	203,819	199,419	195,934	193,092
検挙・補導人員	6,732	7,791	7,076	7,230	6,670	2,837
内少年	4,281	3,258	3,022	2,944	2,602	1,041
少年の割合	63.6%	41.8%	42.7%	40.7%	39.0%	36.7%

(注)「少年人口」は岡山県における10歳から19歳の少年人口

(注)「検挙・補導人員」は刑法犯で検挙・補導した成人と少年の総人員